



エス・ディー・ジーズ
経営とSDGs
～取組は身近なことから～

No. 9

SDGs
17のゴール



業種関係なく取り組めるSDGs 具体的な取組内容①

4月号から、ステップ1の「SDGsを理解する」に重点を置き、業種別の具体的な取組内容をシリーズで紹介してきました。今月号からは業種関係なく取り組める活動について紹介していきます。

※以下で紹介する取組はあくまで一例です。

社屋等に太陽光パネルを設置する

太陽光発電はエネルギー資源問題の有力な解決策のひとつであり、発電過程でCO₂を排出しないことから、地球環境にやさしいことも大きな特徴です。実は日本における太陽光発電の導入は、中国、ドイツとともに世界をリードするほど進んでおり、環境にやさしいだけでなく、ほとんどの方が「お得だから」という理由で導入しています。出費もちろんありますが、電気代を削減できたり、売電収入を得られたりと、メリットを感じている方が導入しています。

関連するゴール



社有車をエコカーに

ガソリン自動車やディーゼル自動車の動力はガソリンや軽油のため、二酸化炭素を排出して温暖化を進める要因になります。さらに、排気ガスで大気を汚すことも問題視されています。一方、エコカーは電気や水素、穀物など環境に優しい電気や代替燃料を動力としているため、二酸化炭素などの排出量を抑えられます。少ない燃料で走ることができる燃費の良さも魅力で、資源を節約することにも貢献できます。

また、新しく購入する場合、エコカー減税や補助金などを利用して、出費を抑えた購入が可能です。

関連するゴール



個人で取り組めるSDGs

空調の設定温度を意識する

空調の温度設定は少し意識・工夫することで省エネや節電につながります。

例えば、空調を入れている時は、ドアや窓の開閉を控える。扇風機を併用して空気を循環させるなどがあります。また、室外機の吹出口付近に物を置くと冷暖房の効果が下がります。

風邪や熱中症に気を付けながら無理のない範囲で工夫してみてくださいはいかがでしょうか。

関連するゴール



2ドア軽自動車地域最安値

24時間
2,200円 24時間
1週間 **8,580円** 1ヶ月 **27,280円**

メンテナンス不要・保険付き・税込

買うより借りる
ガッツでしょ!

ガッツレンタカー 新潟駅前店

TEL: 025-256-8520 FAX: 025-256-8325

新潟市中央区明石 1-2-10 コーポ明石1F

https://guts-rentacar.com/



『認定支援機関』として新潟の企業を応援します!

詳しくはこちらへ → <https://www.ogawakaikei.co.jp/>
(本店) 新潟市東区豊2-6-52 TEL 025-271-2212

税理士法人

小川会計

株式会社 小川会計

コンサルティング

社会保険労務士法人

KBS

- 法人税務～相続まで総合支援
- 事業承継とコロナ対策支援

- 経営計画策定・モニタリング支援
- 認定支援機関補助金申請

- 人事・労務相談
- 就業規則・助成金申請

会社の福利厚生を応援します

新潟市が出資している法人です。

従業員1人当たり月800円で、充実した福利厚生を実現!

会員募集中!



主な事業：慶弔給付、健康維持増進、自己啓発援助、余暇活動援助ほか

詳しいサービス内容はインターネットで

愛称 **ニピイ**

ニピイ 検索

公益財団法人
新潟市勤労者福祉サービスセンター
新潟市中央区西堀通6-878-1 西堀7番館ビル3F
電話 (025) 201-6113 <http://www.nipy.jp/>

本連載では、IT経営マガジン「COMPASS」に掲載した全国のIT活用事例をもとに、中小企業の経営において、ITがどのように役立つかを解説していきます。

ITを事例から ひも解く



多品種少量生産で利益を上げる知恵

取引先からのニーズが高い多品種少量生産。しっかり儲けるには「頑張る」だけでなく、仕組みづくりが欠かせません。

煩雑になる現場の負荷を減らすために、ITをうまく活用している企業があります。

「COMPASS」2022冬号から転載（記載内容は掲載時点のもの）



IT経営マガジン「COMPASS」編集長
石原 由美子

「価格を上げ過ぎない多品種少量生産は、皆が嫌がるゾーン。見方を変えるとブルーオーシャン（競合性が低い）です。この世界で“儲かる”方法を追求してきました」

こう語るのは、機械部品加工を手掛けるプラスエンジニアリングにて、取締役・仙台事業所長を務める浅野謙一郎氏である。本社は東京だが、多くの社員が勤務する工場は宮城県柴田郡村田町にある。

1個、2個の受注が全体の半数以上を占め、単価も5,000～1万円が中心だ。

同社は、2009年から、5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）を基盤に改革を続け、納期の遵守、利益率上昇を実現してきた。

その柱が、（1）社員の能力を高め、多能工を増やす人材育成、（2）時間のかかる生産計画や正確な見積もり作成に寄与するIT活用である。

「不良品を減らすには、技能の基礎を磨くことが第一です。当社では3カ月単位で個人目標を設定し、クリアすると賞与時に賞金が加算されます。また、技能検定レベルに応じて、基本給に技能給が加わります」と浅野氏は説明する。

IT活用においては、生産計画の省力化と正確な見

積もり作成に、自動生産スケジューラ「Asprova」を導入した。ただ、こうしたシステムを使うには、元となるデータが必要になる。

同社はモノづくりの工程を分解して手順と内容・技能レベルを見える化。同時に社員一人ひとりの技能段階（どのレベルの作業までできるか）を明らかにした。システムでは、受注した仕事を工程・必要なスキルに分解し、該当するスキルを持つ社員とマッチングして、作業スケジュールを自動作成する。高い技能を要する工程には、該当する社員が優先的に配置されることになる。

その結果、生産計画作成に要する時間が削減され、配置が最適化された。見積もり額の基準に関しては、加工実績を人や機械の作業時間に落とし込み、予測原価を参照できるシステムを構築し、適正利益を確保する体制を整えた。

浅野氏は、「製造業のデジタル化は、経営の源である利益をどう確保するかのアプローチが大切です」と指摘する。

現在は、営業支援の分野におけるAI活用にも取り組んでいるとのことである。

事例からヨミトル

- ・業務が煩雑になりやすい多品種少量生産への対応こそ、ITの活用でバックヤードを効率化したいものです。
- ・「儲かっているか終わってみたいと分からない見積もり」を出していませんか。見積もりの根拠となるデータをそろえ、適正な利益を確保しましょう。

会社概要

社名	プラスエンジニアリング株式会社 【仙台事業所】
住所	宮城県柴田郡村田町 大字村田字西ヶ丘21
設立	1974年
従業員数	105人
事業内容	生産設備用特注部品、製品用 試作開発部品の製造
URL	https://www.pluseng.co.jp/